



平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 19 年 2 月 9 日

上場会社名 グリーンホスピタルサプライ株式会社

(コード番号：3360 東証第二部)

(URL <http://www.ghs-inc.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 古川 國久

問合せ先責任者 役職名 取締役常務執行役員管理本部長

氏名 黒田 敏史

T E L (06) 6369 - 0130

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有(連結：新規7社、
持分法：新規1社)

2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	50,039	(40.2)	1,390	(9.6)	1,615	(2.1)	637	(30.8)
18年3月期第3四半期	35,678	(13.7)	1,539	(9.8)	1,651	(6.6)	920	(14.7)
(参考)18年3月期	62,229		3,229		3,327		1,696	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	1,907	33	-	-
18年3月期第3四半期	3,207	76	-	-
(参考)18年3月期	5,725	35	-	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

トータルパックシステム事業においては、今回より新たにセントラルユニグループの経営数値が連結対象となり売上で約 2,273 百万円、営業利益で約 145 百万円が加算されています。また、セントラルユニグループを連結対象にしたことにより生じたのれんは、所有不動産の鑑定を行った結果約 945 百万円(10年償却予定)となりました。

これを踏まえて、当第3四半期の状況は、病院業界においては昨年4月の大幅な診療報酬のマイナス改定と医師臨床研修制度改革等による医師・看護師不足が深刻化したことにより、非常に厳しい環境下での病院経営を強いられています。このため、当社グループの既存得意先の機器更新需要や新規機器購入需要が低調に推移するとともに、その価格下げ圧力も強まり、また、各メーカーも市場環境悪化を受けて価格の弾力性を失いつつあるといえます。

このような業界環境の中で当社グループのトータルパックシステム事業の当第3四半期(10月-12月)は、大型のプロジェクト案件売上が1件であったことから売上がほぼ前年並みで推移する一方で、既存得意先売上の売上総利益率が低下したことなどから営業利益については低調に推移いたしました。

その結果、売上高 22,041,552 千円、営業利益 1,460,592 千円となりました。

このため、セントラルユニグループの売上と当社グループのプロジェクト案件売上が集中する第4四半期において、調達・仕入体制を強化して営業利益の確保を図ってまいり所存です。

メディカルサプライ事業においては、今回より新たにサンライフ並びにセントラルユニグループの一部の経営数値が連結対象となり売上で約 2,893 百万円、営業利益で約 51 百万円が加算されています。当第3四半期は、病院経営環境の悪化に伴う減収・減益要因を新規院外型 S P D システム受注による増収・増益要因

でカバーして、新規連結による影響を除きましても全体で前年同期比売上高 10%増、営業利益 15%増となりました。

その結果、売上高 20,829,395 千円、営業利益 590,579 千円となりました。

また、このような全般的な市場環境の悪化は、同業他社の経営環境悪化をもたらすものであり、当社にとって企業グループの拡大の好機と捉え、企業連携やグループ化を積極的に推進してゆく所存であります。

ヘルスケア事業においては、調剤薬局部門では、業界全体の経営環境悪化要因が当社グループの業績にも影響を与え、対前年同期に比較して売上総利益率が 2.4%低下しております。このための対策として当社グループは、購買力の強化を図るために事業規模 100 億円体制の早期実現が重要と考えており、同業他社の M & A の可能性も含んで今後検討してゆく所存です。

ライフケア部門については、第 1 号施設「ウエルハウス尼崎」は満室状態で推移し、第 2 号施設「エスペラル城東」は、1 月末日現在で 179 名入所と単月度営業利益は黒字化するまでにいたり、第 3 号施設「ライフコート春秋」(春秋ライフ株式会社運営、入所定員 162 名、平成 18 年 8 月に開設)は 1 月末日現在で 53 名入所、第 4 号施設「守口佐太有料老人ホームラガール」(弘道会ライフ株式会社運営、入所定員 189 名、平成 18 年 10 月に開設)は 1 月末日現在で 48 名入所となっており、第 3 四半期は季節柄、入居行動が停滞する時期ではありますが、順調に入居者を増やしております。

その結果、ライフケア部門の立ち上げ期の経常損失を抱えながらも、売上高 6,613,285 千円、営業利益 44,837 千円となりました。

その他事業においては、ペット市場への参入のための新規事業となります「千里桃山台動物病院」を平成 18 年 4 月に開院し、順調に来院数・売上を伸ばしておりますが、事業立上げ費用等の影響により、売上高 555,135 千円、営業損失 30,500 千円となりました。

以上の結果、当第 3 四半期の連結売上高は 50,039,368 千円、連結経常利益は 1,615,892 千円、連結四半期純利益は、637,073 千円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	79,958	18,242	22.8	54,616 09
18年3月期第3四半期	55,893	10,879	19.5	37,904 45
(参考)18年3月期	64,435	18,316	28.4	54,725 39

【連結キャッシュ・フローの状況】

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	1,044	12,971	9,885	8,517
18年3月期第3四半期	9,900	10,652	13,900	3,540
(参考)18年3月期	979	8,979	10,323	10,558

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

財政状態(連結)の変動状況

資産は、79,958,405千円となり、前連結会計年度末に比べて15,522,686千円増加いたしました。その主な要因は、有形固定資産が5,066,206千円及び短期貸付金が4,654,950千円、棚卸資産が4,607,267千円、のれんが2,235,159千円それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が3,301,778千円、投資有価証券が594,051千円それぞれ減少したこと等であります。

負債は、56,195,593千円となり、前連結会計年度末に比べて10,095,829千円増加いたしました。その主な要因は、短期借入金が5,976,416千円、長期借入金が3,656,850千円、前受金が1,676,320千円増加した一方、支払手形及び買掛金が2,816,386千円及び未払法人税等が1,310,703千円減少したこと等であります。

純資産は、23,762,811千円となり、前連結会計年度末に比べて5,426,856千円増加いたしました。その主な要因は、少数株主持分が5,501,363千円、四半期純利益の計上により利益剰余金が637,073千円、為替換算調整勘定が9,102千円増加した一方、その他有価証券評価差額金が348,669千円、配当金の支払等により利益剰余金が372,012千円減少したこと等であります。

連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,044,720千円の収入となりました。その主な要因は、仕入債務が6,500,384千円の減少となったものの、売上債権が8,191,457千円の減少となったこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、12,971,147千円の支出となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出が2,828,952千円、短期貸付による支出が7,139,000千円、新規連結子会社株式の取得による純支出が4,018,728千円あったこと等であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、9,885,386千円の収入となりました。その主な要因は、長期借入金の返済による支出が732,577千円、社債の償還による支出が1,004,500千円あった一方、短期借入金の増加が5,402,796千円、長期借入による収入4,195,000千円、社債の発行による収入が2,357,389千円あったこと等であります。

以上により、現金及び現金同等物は2,040,769千円減少し、当四半期末残高は8,517,546千円となりました。

[参 考]

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	80,000 百万円	3,800 百万円	1,900 百万円

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 5,688円41銭

平成18年11月21日に発表いたしました業績予想と変更はありません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

添付資料

1. (要約) 四半期連結貸借対照表
2. (要約) 四半期連結損益計算書
3. 四半期連結株主資本等変動計算書
4. 四半期連結剰余金計算書
5. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書
6. セグメント情報

以 上

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

区分	当第3四半期末 (平成18年12月31日現在)		前年同四半期末 (平成17年12月31日現在)		前連結会計年度末 (平成18年3月31日現在)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
(資産の部)						
流動資産						
1 現金及び預金	10,124,220		3,627,190		10,654,715	
2 受取手形及び売掛金	21,603,907		11,739,750		24,905,685	
3 たな卸資産	7,545,890		3,174,373		2,938,622	
4 短期貸付金	4,824,200		5,454,250		169,250	
5 その他	2,438,097		11,309,643		958,786	
貸倒引当金	97,670		111,922		79,266	
流動資産合計	46,438,645	58.1	35,193,285	63.0	39,547,794	61.4
固定資産						
1 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	9,016,598		4,690,437		4,857,897	
(2) 賃貸資産	1,963,189		1,380,344		2,050,250	
(3) 土地	7,090,894		4,880,450		4,873,751	
(4) 賃貸土地	2,654,642		2,654,642		2,654,642	
(5) その他	766,580		1,483,446		1,989,157	
有形固定資産合計	21,491,905		15,089,321		16,425,699	
2 無形固定資産	3,347,438		454,344		821,486	
3 投資その他の資産						
(1) 長期貸付金	4,488,919		1,113,774		3,760,072	
(2) その他	4,483,288		4,311,180		4,164,950	
貸倒引当金	291,791		268,329		284,284	
投資その他の資産 合計	8,680,415		5,156,625		7,640,738	
固定資産合計	33,519,760	41.9	20,700,291	37.0	24,887,924	38.6
資産合計	79,958,405	100.0	55,893,576	100.0	64,435,718	100.0

(単位：千円)

区分	当第3四半期末 (平成18年12月31日現在)		前年同四半期末 (平成17年12月31日現在)		前連結会計年度末 (平成18年3月31日現在)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
(負債の部)						
流動負債						
1 支払手形及び買掛金	22,752,616		16,359,482		25,569,002	
2 短期借入金	8,626,843		13,086,000		2,996,000	
3 一年以内返済予定 長期借入金	1,317,340		909,429		971,767	
4 未払法人税等	183,513		419,225		1,494,216	
5 賞与引当金	248,280		108,868		244,424	
6 その他	5,073,791		2,217,645		3,138,850	
流動負債合計	38,202,384	47.8	33,100,650	59.2	34,414,260	53.4
固定負債						
1 社債	3,091,000		1,530,000		1,438,000	
2 長期借入金	12,546,935		9,062,435		8,890,085	
3 退職給付引当金	845,153		74,579		86,267	
4 役員退職慰労引当金	46,569		40,500		41,600	
5 その他	1,463,551		1,179,882		1,229,551	
固定負債合計	17,993,209	22.5	11,887,397	21.3	11,685,503	18.2
負債合計	56,195,593	70.3	44,988,048	80.5	46,099,764	71.6
(少数株主持分)						
少数株主持分			26,476	0.0	18,990	0.0
(資本の部)						
資本金			2,288,862	4.1	5,667,081	8.8
資本剰余金			3,215,087	5.7	6,593,306	10.2
利益剰余金			4,509,158	8.1	5,284,628	8.2
その他有価証券 評価差額金			866,523	1.6	772,528	1.2
自己株式			580	0.0	580	0.0
資本合計			10,879,051	19.5	18,316,964	28.4
負債、少数株主持分 及び資本合計			55,893,576	100.0	64,435,718	100.0

(単位：千円)

区分	当第3四半期末 (平成18年12月31日現在)		前年同四半期末 (平成17年12月31日現在)		前連結会計年度末 (平成18年3月31日現在)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
(純資産の部)						
株主資本						
1 資本金	5,667,081	7.1				
2 資本剰余金	6,593,306	8.3				
3 利益剰余金	5,549,688	6.9				
4 自己株式	580	0.0				
株主資本合計	17,809,496	22.3				
評価・換算差額等						
その他有価証券 評価差額金	423,858	0.5				
為替換算調整勘定	9,102	0.0				
評価・換算差額等合計	432,961	0.5				
少数株主持分	5,520,353	6.9				
純資産合計	23,762,811	29.7				
負債及び純資産合計	79,958,405	100.0				

2. (要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		前年同四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
売上高	50,039,368	100.0	35,678,838	100.0	62,229,830	100.0
売上原価	44,126,361	88.2	30,982,135	86.8	54,388,447	87.4
売上総利益	5,913,007	11.8	4,696,703	13.2	7,841,382	12.6
販売費及び一般管理費	4,522,341	9.0	3,157,588	8.9	4,611,564	7.4
営業利益	1,390,665	2.8	1,539,114	4.3	3,229,818	5.2
営業外収益	544,261	1.1	330,264	0.9	501,586	0.8
営業外費用	319,034	0.6	218,103	0.6	404,199	0.6
経常利益	1,615,892	3.2	1,651,275	4.6	3,327,205	5.4
特別利益	2,164	0.0	168	0.0	1,216	0.0
特別損失	3,913	0.0	3,138	0.0	9,848	0.0
税金等調整前四半期 (当期)純利益	1,614,143	3.2	1,648,304	4.6	3,318,572	5.3
法人税、住民税 及び事業税	862,499	1.7	787,892	2.1	1,821,301	2.9
法人税等調整額	167,483	0.3	50,788	0.1	181,912	0.3
少数株主損失	52,912	0.1	9,466	0.0	16,952	0.0
四半期(当期)純利益	637,073	1.3	920,666	2.6	1,696,135	2.7

3. 四半期連結株主資本等変動計算書

当第3四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	5,667,081	6,593,306	5,284,628	580	17,544,436
当四半期の変動額					
剰余金の配当			334,012		334,012
役員賞与			38,000		38,000
四半期純利益			637,073		637,073
株主資本以外の項目の当四半期 の変動額(純額)					
当四半期の変動額合計			265,060		265,060
平成18年12月31日残高	5,667,081	6,593,306	5,549,688	580	17,809,496

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等 合計		
平成18年3月31日残高	772,528		772,528	18,990	18,335,954
当第3四半期の変動額					
剰余金の配当					334,012
役員賞与					38,000
四半期純利益					637,073
株主資本以外の項目の当四半期 の変動額(純額)	348,669	9,102	339,566	5,501,363	5,161,796
当四半期の変動額合計	348,669	9,102	339,566	5,501,363	5,426,856
平成18年12月31日残高	423,858	9,102	432,961	5,520,353	23,762,811

4. 四半期連結剰余金計算書

(単位：千円)

区分	注記 番号	前年同四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	
		金額(千円)		金額(千円)	
(資本剰余金の部)					
資本剰余金期首残高			3,215,087		3,215,087
資本剰余金増加高					
増資による新株式の発行				3,378,219	3,378,219
資本剰余金四半期末(期末) 残高			3,215,087		6,593,306
(利益剰余金の部)					
利益剰余金期首残高			3,876,403		3,876,403
利益剰余金増加高					
四半期(当期)純利益		920,666	920,666	1,696,135	1,696,135
利益剰余金減少高					
1 配当金		258,311		258,311	
2 役員賞与		29,600	287,911	29,600	287,911
利益剰余金四半期末 (期末)残高			4,509,158		5,284,628

5.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区分	当第3四半期	前年同四半期	前連結会計年度
	(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)	(自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)	(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
	金額	金額	金額
営業活動による キャッシュ・フロー			
税金等調整前 四半期(当期)純利益	1,614,143	1,648,304	3,318,572
減価償却費	829,303	417,370	593,951
持分法による投資損益	4,062	11,579	14,272
売上債権の減少(増加)額	8,191,457	5,981,177	7,000,411
たな卸資産の 減少(増加)額	1,248,826	1,178,058	939,613
仕入債務の増加(減少)額	6,500,384	6,090,903	3,060,858
その他	71,980	9,733,321	893,685
小計	2,953,612	8,967,010	87,229
利息及び配当金の受取額	525,564	252,973	346,628
利息の支払額	218,938	152,720	225,603
法人税等の支払額	2,215,517	1,033,688	1,013,262
営業活動による キャッシュ・フロー	1,044,720	9,900,445	979,465
投資活動による キャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得 による支出	2,828,952	5,021,157	5,780,314
有形固定資産の売却 による収入	19,139	16,245	11,596
短期貸付による支出	7,139,000	6,110,000	6,510,000
短期貸付金の回収 による収入	2,484,050	872,100	6,557,100
新規連結子会社株式の取得 による純支出	4,018,728		447,542
その他	1,487,656	410,063	2,810,302
投資活動による キャッシュ・フロー	12,971,147	10,652,875	8,979,462
財務活動による キャッシュ・フロー			
短期借入金 の純増加(減少)額	5,402,796	10,890,000	800,000
長期借入による収入	4,195,000	4,750,085	4,750,085
長期借入金の返済 による支出	732,577	1,290,874	1,400,886
社債の発行による収入	2,357,389		
社債の償還による支出	1,004,500	192,000	284,000
株式の発行による収入			6,715,501
配当金の支払額	332,722	256,849	257,202
財務活動による キャッシュ・フロー	9,885,386	13,900,361	10,323,498
現金及び現金同等物に係る 換算差額	272		
現金及び現金同等物 の増加(減少)額	2,040,769	6,652,960	364,569
現金及び現金同等物 の期首残高	10,558,315	10,193,746	10,193,746
現金及び現金同等物 の四半期末(期末)残高	8,517,546	3,540,785	10,558,315

6. セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期（自平成18年4月1日 至平成18年12月31日）

（単位：千円）

	トータル パックシステム事業	メディカルサ プライ事業	ヘルスケア 事業	その他事業	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	22,041,552	20,829,395	6,613,285	555,135	50,039,368	-	50,039,368
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	219,192	104,393	39,899	12,880	376,366	376,366	-
計	22,260,745	20,933,788	6,653,184	568,016	50,415,735	376,366	50,039,368
営業費用	20,800,153	20,343,209	6,608,347	598,517	48,350,226	298,476	48,648,703
営業利益 (又は営業損失)	1,460,592	590,579	44,837	30,500	2,065,508	674,843	1,390,665

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分に属する主要な事業の内容

(1) トータルパックシステム事業

医療機器及び医療設備等の一括受注販売、医療・保健・福祉施設等に関するコンサルティング、医療機関等に対する不動産賃貸等

(2) メディカルサプライ事業

医療用診療材料及び特定保険医療材料等の販売等

(3) ヘルスケア事業

調剤薬局及び介護付有料老人ホームの運営、食事提供サービス業務等

(4) その他事業

理化学及び環境機器等の販売、動物病院の運営、不動産(医療機関等に対するもの以外)の賃貸等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、664,403千円であり、その主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門にかかる費用であります。

前年同四半期（自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日）

（単位：千円）

	トータル パックシステ ム事業	メディカルサ プライ事業	ヘルスケア 事業	その他事業	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,620,275	16,321,785	5,231,673	505,103	35,678,838	-	35,678,838
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	378,743	295,031	14,658	89,796	778,230	778,230	-
計	13,999,019	16,616,816	5,246,332	594,900	36,457,068	778,230	35,678,838
営業費用	12,392,115	16,146,093	5,068,283	551,989	34,158,482	18,758	34,139,724
営業利益 (又は営業損失)	1,606,903	470,723	178,048	42,910	2,298,585	759,471	1,539,114

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分に属する主要な事業の内容

(1) トータルパックシステム事業

医療機器及び医療設備等の一括受注販売、医療・保健・福祉施設等に関するコンサルティング、医療機関等に対する不動産賃貸等

(2) メディカルサプライ事業

医療用診療材料及び特定保険医療材料等の販売等

(3) ヘルスケア事業

調剤薬局及び介護付有料老人ホームの運営等

(4) その他事業

理化学及び環境機器等の販売、不動産(医療機関等に対するもの以外)の賃貸等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、696,481千円であり、その主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門にかかる費用であります。

前連結会計年度（自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 3 月 31 日）

（単位：千円）

	トータル パックシステ ム事業	メディカルサ プライ事業	ヘルスケア 事業	その他事業	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	31,690,459	22,769,551	7,058,324	711,495	62,229,830	-	62,229,830
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	457,734	313,021	17,059	85,203	873,018	873,018	-
計	32,148,193	23,082,572	7,075,383	796,699	63,102,849	873,018	62,229,830
営業費用	28,937,951	22,467,083	6,825,604	767,973	58,998,612	1,399	59,000,012
営業利益 (又は営業損失)	3,210,241	615,489	249,779	28,725	4,104,236	874,418	3,229,818

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分に属する主要な事業の内容

(1) トータルパックシステム事業

医療機器及び医療設備等の一括受注販売、医療・保健・福祉施設等に関するコンサルティング、医療機関等に対する不動産賃貸等

(2) メディカルサプライ事業

医療用診療材料及び特定保険医療材料等の販売等

(3) ヘルスケア事業

調剤薬局及び介護付有料老人ホームの運営等、食事提供サービス業務等

(4) その他事業

理化学及び環境機器等の販売、動物病院の運営、不動産(医療機関等に対するもの以外)の賃貸等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、782,651千円であり、その主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門にかかる費用であります。